

学校運営協議会会議録

学校名 杉並区立松溪中学校

記録者 渡邊 麗、佐藤 伸彦

開催日時	令和6年7月13日(土)14時25分～15時55分
開催場所	松溪中学校 校長室
出席者(委員)	小松校長、檜枝会長、恵羅職務代理、石井委員 渡邊委員、目黒委員、村木委員、武井委員、佐藤委員
出席者(学校)	田崎副校長
傍聴者人数	0名

会議内容(次第順)

【報告事項】

1. PTAの方々との意見交換会について
2. 会長より
3. 学校長より
7. 学校報告

【協議事項】

4. 松溪中CSの在り方について
5. 公開授業について
6. 部活動について

主な意見

【報告事項】

1. PTAの方々との意見交換会について
 - ・会議前、1時間程度、PTA役員3名との意見交換会を行いました。様々なことが話題となりましたが、松溪中の現状については、概ね満足しているように感じました。
2. 会長より
 - ・午前中は、松溪中の公開授業を参観できませんでしたが、杉並第六小学校のCS会議に参加してきました。学校の雰囲気の違いを改めて感じました。
 - ・地域と学校との協働が成熟していく段階について学ぶ機会があり、私達(松溪中)の協働の段階は、現状でどの段階にあるのかと考えました。協働のポイントは、地域と学校がお互いに協力することですが、学校はいろいろなりソースを持っているので、まずは学校が核となると良いと考えました。また、学校支援本部とCSの役割の違いを明確に理解するとともに、杉並区では両方を同じ課で担当していることで進めやすくなっていることがわかりました。
3. 学校長より
 - ・数学の教諭が現在入院しておりますが、2学期から復帰できる予定になりました。1学期は、授業に支障が出ないよう他の教員で対応しています。
 - ・これまで別室登校の生徒への対応をしていた学習支援教員が通常学級支援員になるために退職しました。通常学級支援員としても本校に配置されるよう、本人も学校も希望を出しています。
 - ・現在、各学級の黒板に設置されているプロジェクターとスクリーンが全て外され、この夏に電子黒板が設置されることになりました。新たに設置される電子黒板を活用できるようにするため、今後、職員の研修を行っていきます。
7. 学校報告(別紙資料参照)

【協議事項】

4. 松溪中CSの在り方について

- ・地域と学校の協働について、学校支援本部とCSの役割がよく分からないと思います。
- ・CSは学校教育の中で活動するものであり、あくまでも学校の相談相手の役割になると思います。校長と副校長が松溪中の学校経営のビジョンをつくっていくので、CSと一緒にやっていくことだと思います。学校支援本部は学校教育ではなく社会教育であり、学校との協働を実行するところだと思います。
- ・昔は学校のことは学校の中だけで完結していましたが、時代が変わり地域との協働が必要になりました。杉並区では地域とのやりとりができる学校から順次CSを設置してきました。学校のことをよく知らない委員であっても、いろいろな視点で意見を出して良いと思います。
- ・地域の課題をよく理解している委員の方もいるので、地域住民として生徒を育てていく視点で意見を出していくことができると思います。松溪中が実施してきた生徒が赤ちゃんとふれあう体験では、赤ちゃんの親世代が生徒の親世代と出会うことになり、結果として地域の世代間の交流を進めたことになりました。地域で開催した『こども未来市』では、ボランティアとして参加した生徒達を中心となって運営することもできました。学校が地域づくりに協力していることに松溪中のCSが関わってきていると思います。

5. 公開授業について

- ・午前中に公開された道徳の授業が良かったです。先生が道徳の教科書を範読し、それを聞いていた生徒から考えを引っ張り出すことができていました。様々な考えが出されていく中で、より価値が高い考えにまとまっていたことも良かったと思いました。
- ・生徒が自分の考えをよく出せる授業をつくっていくため、先生方がどれだけ残業をしているのかと思いました。
- ・授業後の意見交換会には、今年は保護者の参加が多くありました。学校のことは先生にお任せではなく、保護者も意見を言うことも大切だと考え、参加をアピールしてきました。
- ・自分の子どもがいた時代とは随分と授業の様子が違いました。先生方が授業のパワーポイントをつくるのに時間がかかっているのではないかと思います。
- ・参観した社会科の授業に引き込まれました。先生の生徒への対応が変わり、良い雰囲気だと感じました。昔は先生が板書をしていたのでそんな対応ができなかったと思います。準備は大変だと思いますが、生徒とのやり取りができるようになっていました。一方的な授業ではなく、生徒の議論を大切にしていました。

6. 部活動について

- ・部活動が2026年度までに地域に移行していくと聞きました。
- ・部活動に求められていることが変わり、部活動のやり方も変わってきています。現在ある地域のクラブが部活動を受け入れる等、いろいろなやり方が考えられます。
- ・子ども達による部活動の選び方も変わってきています。野球やサッカー、バスケの部活動に入る子どもが少なくなっています。
- ・土日にも部活動の指導で出勤している教員の働き方改革の一環にもなっています。子どものことを考えると部活動は大切ですが、教員の家庭も大切にしていこうという考え方があります。
- ・子どもとの関係をつくっていくために部活動を大切にしている教員もいます。

次回の会議日程

日時	9月9日(月)16時00分から
会場	松溪中学校 校長室